

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 2 月 5 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約1.9m <sup>3</sup> /h	18.5	106.8 kPa abs	A系: 0.00 vol%
		給水系:約2.5 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.6m <sup>3</sup> /h	31.3	6.39 kPa g	A系: -*2 vol%
		給水系:約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.6m <sup>3</sup> /h	31.4	0.25 kPa g	A系: 0.18 vol%
		給水系:約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.17 vol%

\*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

\*2:計器点検に伴いデータ欠測

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.0
2号機	循環冷却システム	運転中	13.2
3号機	循環冷却システム	運転中	11.4
4号機	循環冷却システム	運転中	22

\* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

[3号機]・H25/2/6～7 使用済燃料プール上部の鉄骨トラス瓦礫を撤去に伴い使用済燃料プール冷却システム一時系を停止予定。冷却停止期間は、最大約 30 時間であり、温度上昇としては、約5 程度の上昇であると評価されることから、温度管理上問題はない。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 ( 高温焼却炉建屋 ) ]	1/24 11:03 ~ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系\*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。なお、当該作業については、2月上旬まで、適宜、実施する予定。

\*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/5 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## < 5 . その他 >

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5,6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/2/6～ 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備について、現地でのコンクリートモジュール組立て作業を開始予定。
- ・H25/2/6 3号機使用済燃料プール上部の鉄骨トラス瓦礫を撤去予定。

以上